

ふじみ野市立鶴ヶ丘小学校

社会奉仕体験



第6学年 防災教育

特色

- 地域の方々を講師に迎え、防災時の対応について野外での体験を交えて学ぶ事ができる。被災地の状況を感じる事ができる。
- ご飯作り・試食・骨折者の介護法・止血の仕方等を体験する事で、家族や地域を自分たちで守ろうとする意識を高められる。

児童の感想

- 米と水を袋に入れお湯に入れたらご飯が炊けるのをはじめて知った。鍋で炊いただけなのに、美味しかった。貴重な体験が出来たと思う。災害にあった時に役に立つので、忘れないようにして、家族にも伝えたい。
- 応急手当の仕方も学ぶことができた。もしも自分が怪我をしたり周りの人が怪我をしていたりしたら進んで助けたい。

成果

- 日本各地からボランティアが集まり、さまざまな活動により被災地の人々を支えたことを学ぶ事ができた。
- 大地震の後、避難物資が届くまでの生き延び方を考える事が出来た。自分たちが「家族や地域を守ろう。」とする意識を持つ事ができた。